



1.《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》1927年 愛媛県美術館

すぎうら ひすい
杉浦非水

時代をひらくデザイン

2021年11月23日(火・祝)～2022年1月30日(日)

三重県立美術館
PRESS RELEASE 2021.10

愛媛県松山市に生まれ、日本におけるモダンデザインの草分けとして知られる杉浦^{すぎうら}非水^{ひすい}(1876-1965年)。日本画家を志して上京しますが、洋画家黒田清輝^{くろだせいき}との出会いをきっかけにデザインの道に進みました。1908年に三越呉服店に職を得ると、27年間にわたって同店の広告を手がけ、巧みなデザインによって一躍その名を知らしめます。本の装丁、パッケージデザインなどにも優れた手腕を見せ、その明るく洗練されたデザインの数々は、今もなお色あせない魅力を持っています。

本展では、ポスターや図案集などの代表作のほか、制作の過程を示すスケッチや写真、遺愛の品々から、非水の生涯をたどります。東海地方の美術館では初めてとなる非水の大規模回顧展を、ぜひお見逃しなく。

※会期中、一部作品の展示替を行います。

前期 12月26日(日)まで / 後期 12月28日(火)から

展覧会概要

杉浦非水 時代をひらくデザイン

会期 2021年11月23日(火・祝)～2022年1月30日(日)

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日 月曜日(ただし、1月10日は開館)、1月11日(火)

年未年始[2021年12月29日(水)～2022年1月3日(月)]

主催 三重県立美術館、毎日新聞社

助成 公益財団法人岡田文化財団、公益財団法人三重県立美術館協働会

協賛 ニューカラー写真印刷株式会社

特別協力 株式会社三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館

企画協力 愛媛県美術館

観覧料 一般1,000(800)円 学生800(600)円 高校生以下無料

※()内は前売及び20名様以上の団体割引料金

- ・この料金で「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。
- ・生徒・学生の方は生徒手帳、学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等(アプリ含む)をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- ・県内学校(小・中・高・特別支援)等が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。
- ・毎月第3日曜(12月19日、1月16日)の家庭の日は団体割引料金でご覧いただけます。



2.《三越呉服店 春の新柄陳列会》
1914年 愛媛県美術館

杉浦非水(1876－1965年)とは？

本名杉浦朝武。^{つとむ}愛媛県松山市に生まれる。日本画家を志して上京し、東京美術学校日本画選科に入学。在学中、洋画家黒田清輝のもとでフランスの雑誌、写真などを目にしたことをきっかけにデザインの道に進むことを決め、独学。1908年から27年間勤めた三越呉服店では初代図案部主任となり、広告から機関雑誌、商品のデザインを手がけた。日本で最も早い時期の専門デザイナーとして知られ、明るく洗練されたデザインを得意とした。1929年には帝国美術学校(現・武蔵野美術大学)教授、工芸図案科長に、1935年には多摩帝国美術学校(現・多摩美術大学)初代校長に就任。今日のデザイン界の礎を築いた。

会期中のイベント

記念講演会「杉浦非水が目指したもの：その生涯と仕事」

日時：1月16日(日) 午後2時～(1時間半程度)

会場：三重県立美術館地下1階講堂

講師：長井健(愛媛県美術館 専門学芸員)

定員40名／参加無料／要事前申込(申込締切：1月7日(金))

※参加申込は当館ウェブサイトの専用フォーム、往復はがきにて受付けます。

往復はがきの場合、参加者氏名、当日連絡先(電話・メールアドレス)を添えて美術館宛に お送りください。申込多数の場合抽選し、締切後に結果をお知らせします。

※講演会終了後、記録動画を作成予定。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

担当学芸員によるスライドトーク

日時：12月18日(土)、1月9日(日) 午後2時30分～(45分程度)

会場：三重県立美術館地下1階講堂

定員40名／参加無料

開始30分前に開場し、席が埋まりしだい参加を締め切ります。

※手話通訳・要約筆記が必要な方は事前にご相談ください。

※イベントの情報は、今後の状況によって変更となる可能性があります。

展覧会のみどころ

1. グラフィックデザインの名作がせいぞろい

「三越の非水か、非水の三越か」と言われるまでに注目された三越呉服店時代の広告デザインから、グラフィックデザイン史の名作として知られる《東洋唯一の地下鉄道上野浅草間開通》、たばこパッケージ《光》などの代表作が揃います。今もなお色あせない魅力を持つ非水の作品の数々を、是非おたのしみください。

2. 代表作から資料までが一堂に会する大規模回顧展(巡回展)

7000件以上の非水アーカイブを有する愛媛県美術館の企画協力のもと、代表作に加え、制作の背景を示すスケッチや写真、資料約300件から、明治、大正、昭和にまたがる非水の生涯をたどります。東海地方で非水の大規模回顧展が開かれるのは初めての機会です(本展は島根、東京、三重、福岡を巡回します)。

【巡回情報】 島根県立石見美術館 2021年7月3日～8月30日 (終了)
たばこと塩の博物館 2021年9月11日～11月14日 (終了)
三重県立美術館 2021年11月23日～2022年1月30日
福岡県立美術館 2022年4月15日～6月12日

3. 【三重会場のみ】現存する《みだれ髪歌がるた》をすべて公開

20代前半の杉浦非水と親友の洋画家中澤弘光が、1901年に発行された鳳(与謝野)晶子の歌集『みだれ髪』に感銘を受け、歌に絵を添えて制作した《みだれ髪歌がるた》。文学と美術の融合、日本におけるアール・ヌーヴォー受容の重要作として知られながら、散逸によりこれまでまとめて展示される機会はほとんどありませんでした。本展では、三重会場でのみ現存する28枚(三重県立美術館蔵1枚、個人蔵27枚)を前後期に分けて公開します。東海、関西圏で《みだれ髪歌がるた》がまとめて展示されるのは、初めてのことです。

なかざわひろみつ



3. 中澤弘光、杉浦非水《みだれ髪歌がるた》
1901年 三重県立美術館

広報用画像

本プレスリリース掲載の画像を展覧会の広報用に提供します。掲載をご希望の方は、下記連絡先にご連絡ください。受付後、JPEGまたはTIFFの画像データとキャプションのテキストデータをメールにてお送りします。



4.『三越』第十七巻第七号 1927年 愛媛県美術館



5.《ヤマサ醤油》1920年代 愛媛県美術館

- 1.《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》1927年 愛媛県美術館
- 2.《三越呉服店 春の新柄陳列会》1914年 愛媛県美術館
- 3. 中澤弘光、杉浦非水《みだれ髪歌がるた》1901年 三重県立美術館
- 4.『三越』第十七巻第七号 1927年 愛媛県美術館
- 5.《ヤマサ醤油》1920年代 愛媛県美術館
- 6.《光》1936年 たばこと塩の博物館

※作家名のないものはすべて杉浦非水デザイン

◎掲載にあたってのお願い

- ・上記キャプションを画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字のせ、トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載後、掲載物を2部、又は紙面データを美術館までお送りください。
- ・ウェブサイトに掲載の場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記して下さい。
- ・画像データの広報目的以外の利用はできません。



6.《光》1936年
たばこと塩の博物館

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 高曾由子、原 舞子

〒514-0007 津市大谷町11番地 TEL:059-227-2100 FAX:059-223-0570

Email:kosoy00@pref.mie.lg.jp (高曾) / bijutsu@pref.mie.lg.jp (代表)